

研究室訪問・意見交換会④（水産学部）

5月9日（火）水班の代表生徒8名が長崎大学水産学部の阪倉良孝教授の水産増殖学研究室を訪問しました。「魚を育てる」というテーマで研究内容について説明をいただきました。種苗生産の技術やその課題、アジアの養殖生産についてなど興味深い話でした。後半は、水質浄化や養殖についてなど生徒の質問に対して、丁寧に対応していただきました。マイクロ生物を利用した仔魚の飼育から、成魚を育てるまでの緻密な作業、それを支える人々の努力と高い技術に生徒は驚き、水産学の奥の深さを感じたようでした。



研究室訪問・意見交換会⑤（RECNA）

5月9日（火）平和班の代表生徒10名が長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）を訪問し、広瀬訓副センター長との意見交換会を行いました。核兵器の数は減ってきているものの、依然として生産され続けている現状について、誰もが疑問に思っているのにも関わらず止められない難しさについてお話いただきました。参加した生徒たちも、平和という概念に対する視野が広がり、自分たちの考えていたテーマについて再考するきっかけを得られたようでした。



研究室訪問・意見交換会⑥（工学部）

5月10日（水）水班の代表生徒8名が長崎大学工学部を訪問し、板山朋聡教授との意見交換会を行いました。地球における水資源について説明していただき、日本の水道の歴史や浄水処理のシステムなどについて詳しく教えていただきました。講義していただいた後は、実験用の浄水装置を実際に見せてもらうこともできました。参加した生徒は「何か1つの植物や微生物などによって水がきれいになるのではなく、様々な要因が複雑に関係し合うことできれいになるということがよくわかった」と述べていました。

